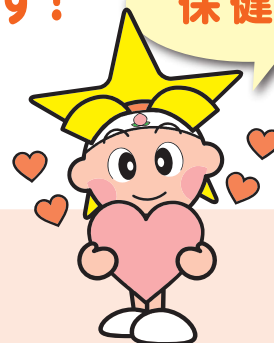


## ●先輩看護職からのメッセージ

Message

地域に暮らすみなさんの健康を守ります！  
生活に寄り添い  
健康を支える縁の下の力持ち

保健師



にし おか もも み  
西岡 百美

奈義町役場 こども・長寿課 〈入職 3年目〉



私は、行政保健師として、町の保健相談センターに勤務しており、母子保健や予防接種、愛育委員会(地域の健康づくりを担う委員)を担当しています。奈義町には、保健師が3名おり、がん検診や生活習慣病予防、精神疾患を持つ方への支援など幅広い分野の仕事を社会福祉士や栄養士と協力しています。

私は、母子保健の一環で赤ちゃんが生まれたお家を全世帯訪問しています。そこでは、お母さんの悩みや不安をお聞きし、これからの生活について一緒に考えていきます。妊娠・出産・子育てという家族の一大イベントに長きにわたって寄り添うことができるのは、保健師ならではの思いま

す。地域にいる何でも相談できる人を目指して、町民のみなさんに信頼してもらえるよう日々頑張っています。

## 保健師の仕事



### 〈子育て相談〉

赤ちゃんの身長や体重を測り、お母さんと一緒に子供の成長を見守ります。離乳食の相談や地域の生活についての相談など、相談内容は多岐にわたります。



### 〈思春期ふれあい体験〉

小学校高学年を対象に、赤ちゃんとのふれあい体験を開催しています。実際に赤ちゃんのお世話をしたり、お母さんから出産の話の聞いたりして、命の大切さについて学びます。

# 新たな命が生まれる場所が より安全で安心できるように なることを目指して

Message

助産師



さ さ き ま ゆ  
佐々木 麻裕

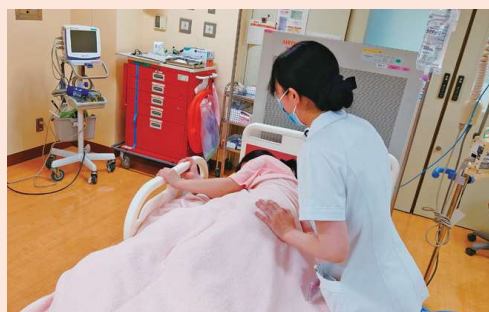
岡山大学病院 〈入職 6年目〉



私は現在、地域周産期母子医療センターで働いています。切迫早産や合併症を抱えた妊産褥婦の看護を日々行っています。予期しない入院や赤ちゃんの疾患など、思い描いた妊娠出産と全く違う経過を辿る方も少なくないですが、妊娠出産の現場ができる限り安心安全な場であるように、時にはNICU(新生児集中治療室)と連携しながら、母子の健康を第一に考えて関わり続けています。二つの命を預かることに緊張感はありますが、お母さんと赤ちゃんの大切な出会いを支えられることに、とても大きな役割を感じています。

助産師は女性の一生に関わる職業で、誕生から最期の時まで様々なライフステージを支え、それぞれの専門性を持つこともできます。ぜひ助産師として一緒に働きましょう。

## 助産師の仕事



### 〈分娩介助〉

安全な出産に向け、医師とも協力しながらサポートします。分娩経過は千差万別ですが、その時その時の判断を大切にして、様々な角度から観察し、予測しながらサポートしています。



### 〈産後支援〉

産後もお母さん一人ひとりに合わせたサポートを行います。中には様々な理由で母乳育児ができない方もいらっしゃいますが、退院後の育児が円滑に進むように、時には家族まで巻き込んだ支援を行っています。

# 患者・家族の思いに寄り添い

# 日々安心・安全な看護を行えるように

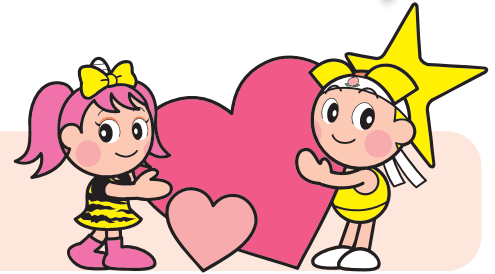
# 心がけています

Message

看護師

ごとう あやの  
後藤 彩之

川崎医科大学総合医療センター 〈入職 3年目〉



私は耳鼻咽喉科と皮膚科、内科の混合病棟に所属しています。

主に術後の患者さんや放射線治療、肺炎の患者さんの看護を行っています。患者さんは再入院や長期治療になることが多いです。そのため日々の関わりやご家族と話しをする中で、思いや不安なことを聞き取り、必要な看護・支援を考えています。医師や多職種に情報共有し、安心して患者さんが治療を受けられ、早期回復、退院できるようにサポートしています。

急性期病棟では状態が変化しやすく、病気や治療に対して不安が大きい患者さんが多く、精神的なケアも大切だと感じています。

患者さんの元気になった姿を見たり、「ありがとう」など感謝の言葉を頂いたときにとってもやりがいを感じます。

相手の視点に立って物事を考えて関わることを心がけ、患者・家族に寄り添った看護が行えるように日々頑張っています。

## 看護師の仕事



### 〈PNS:パートナーシップナーシングシステム〉

パートナーシップナーシングシステムという体制を導入しており、2人1組でパートナーを組んで患者さんを受け持っています。

先輩から患者さんとの関わり方や看護を学べたり、不安なことがあった時に患者さんの情報を共有しているのですぐ相談して解決することができます。



### 〈病棟〉

先輩は優しく話しやすいので相談しやすく、仕事ではしっかりとサポートがあり安心して働けます。

同期も多く、学校が違っても日々仕事をしていく中で仲良くなり、とても心の支えになっています。院内にはいろいろな資格をもった先輩がいて困った時にすぐに相談でき、看護や観察の視点などたくさんアドバイスを頂けます。

## 患者さんの強みを引き出せる

## 看護師を目指しています

看護師



やま さき よし お  
**山崎 義夫**

公益財団法人 慈圭会 慈圭病院 〈入職 4年目〉



当院に入院される患者さんは、統合失調症の方をはじめ双極性感情障害、発達障害、適応障害、うつ病、認知症、アルコール使用障害など疾患は多岐にわたります。それぞれ病態や年齢層が異なるため、個別性を考慮しながら症状をアセスメントしていく必要があります。日々看護を行っていく中で自身のスキルアップに繋がります。私が働く精神科救急急性期病棟では3ヶ月を目安に退院調整を行い、多職種で連携して退院支援を行っています。精神疾患を患う患者さんは症状が寛解されても自覚を持つことが難しく、今後の生活に向けて自信が持ちにくい傾向にあると感じます。私は日々のコミュニケーションを通じて性格や特性を見極め、患者さんの「強み」に着眼し、今後の生活に明かりを感じられるように患者さんの長所を伸ばせる看護を行っています。

## 看護師の仕事



### 〈患者さんの情報収集〉

患者さんは精神疾患だけでなく、身体的な既往がある方も多く入院されており、情報収集をしっかりと行い常に患者さんの状態をアセスメントしながら看護を行うようにしています。



### 〈薬剤の確認〉

精神科の治療のひとつに薬物療法があり、薬剤に携わる機会が多くあります。効果や副作用を把握する他、与薬や注射などは医師の指示確認を看護師2名でダブルチェックし、患者さんとリストバンドで照合し誤薬や事故がないように努めています。

## 利用者の気持ちを尊重し

## その人らしい生き方を支えたい

訪問看護師



こ が ゆう か  
古香 佑花

そーる訪問看護ステーション 〈入職 1年目〉



訪問看護は、病気や障害を持った方が住み慣れた家庭で、最期までその人らしく過ごせるようにサポートすることが大切だと思います。しかし、訪問看護の利用者は年齢や疾患、家族の在り方などが様々で、利用者本人の気持ちや大切にしていることも一人一人異なり、知識や経験が浅く年齢も若い私にとっては難しさを感じることも多いです。しかし、先輩方とも相談しながら利用者・家族と関わる中で、その方の大切にしていることや希望の糸口を見つけケアに繋がられたときには、とても嬉しさややりがいを感じます。

利用者や家族と時間をかけて丁寧に関わることで、その方の気持ちに寄り添い、“その人の幸せ”や“その人らしい生き方”を支えられるような訪問看護師になれるようこれからも

も頑張っていきたいと思います。

これを読んで、少しでも訪問看護に興味をもってくれる方がいると嬉しいです。

### 訪問看護師の仕事



#### 〈点滴などの医療ケア〉

利用者のご自宅に訪問し、健康状態の観察や、全身清拭・入浴介助・排便ケアなどの療養上のケア、褥瘡の処置、皮下点滴などの医療処置を行います。

人工呼吸器の装着など医療依存度の高い方や、精神科訪問看護も行っています。



#### 〈多職種との情報共有〉

訪問後にその方の様子について電話や事業所に出向いて報告するなど、関係職種とこまめに情報交換を行うことで連携をとりながら異常の早期発見や、利用者・家族の生活の質の向上に努めています。